

◇あとがき◇

2023年12月13日、私はある忘年会に出席するために都内の某ホテルを訪れていましたが、ホテルではいくつもの忘年会が開催され、外国人旅行者も大勢みかけました。COVID-19の5類感染症移行後、初めての東京の年末はパンデミック以前となんら変わらない年末の姿でしたが、マスクをしている人の数はまだ多い印象でした。しかし、私の働いている医療施設では、いまだにCOVID-19とインフルエンザの院内感染が発生し、職員の陽性者が毎日数名は報告されています。それでも診療への影響はほとんどなく、面会制限や入院前抗原検査の緩和、COVID-19陽性病棟の廃止の方向に進んでおり、この3年間でわれわれは本当に多くのことを学んできたのだと痛感しています。

さて、今回は「腹腔鏡下噴門形成術—新技術認定制度に向けて」という企画を組みました。この企画は、日本内視鏡外科学会の技術審査(小児外科領域)において、腹腔鏡下噴門形成術の審査基準を2024年度から変更するにあたり、技術審査が開始されてから15年が経過した現時点での腹腔鏡下噴門形成術に関連するさまざまな話題で構成された内容となっています。それぞれの執筆者が写真やシェーマを数多く用いて、非常にわかりやすく解説をしてくださっていますが、なかでも寺倉宏嗣先生がご執筆くださった「変形の強い重症心身障害児者」の稿は特筆に値する内容となっています。寺倉先生は、すでに小児内視鏡外科医としては第一線を退かれておりますが、私からの「写真を多く載せた原稿」という依頼をお引き受けくださり、人生最後の依頼原稿としてご執筆くださいました。そして、その内容は数多くのご経験に基づく、まさに図鑑・写真集と呼ぶに相応しい素晴らしい内容となっています。寺倉先生には、この場を借りて心よりの最大限の感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。他稿も含め、非常に内容の深い素晴らしい特集号になったと自負しており、この特集号が腹腔鏡下噴門形成術のよりいっそうの標準化を促進し、同手術が安全・安心で再発の少ない手術になることの一助となれば幸いです。

(世川 修)

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1

本郷宮田ビル 5階

TEL 03-3814-8541(代) FAX 03-3816-0415

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)東京医歯学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に一般社団法人出版者著作権管理機構(TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

「小児外科」第56巻第2号(2024年2月号)

特集 胆道閉鎖症の研究 update

オルガノイドを用いた胆道閉鎖症の病態解明……………小西健一郎
胆嚢壁の低形成に起因する胆道閉鎖症

—Sox17ハプロ不全マウスモデルの解析から—…宮崎奈々恵
患児末梢血中の母親由来キメラ細胞の検出と

その臨床的意義……………榎屋隆太
患児由来胆管上皮細胞培養の試み……………東 真弓

CLiP (chemically induced liver progenitor cell) による

胆道閉鎖症に対する新たな治療の可能性……………藤田拓郎

嚢胞型胆道閉鎖症と乳児早期の先天性胆道拡張症…白井 剛

腸内細菌叢の包括的解析……………越智崇徳

全国登録データを用いた腸閉鎖症および胎便性腹膜炎

合併例の検討……………藤野明浩

胆道閉鎖症診断における便色カラーカードの利用状況と

課題—導入前後の施設での検討を基に—…升井大介

血清MMP-7の臨床的有用性……………坂口廣高

AIによる便色判定の有用性……………大畠雅之

インドシアニンググリーン便中排泄評価による

スクリーニングの試み……………村山未佳

選択的肝左葉肥大の診断的意義……………三藤賢志

肝表面の「マキビシ」の診断的意義……………城田千代栄

胆道閉鎖症診療ガイドラインの改定に向けて……………仁尾正記

施設症例数と自己肝生存率の検証……………高見尚平

多施設共同研究から作成した一次肝移植適応基準を

満たす患者の実態……………富田紘史

胆道閉鎖症減黄例に対する肝手術適応—線維化マーカー、

および摘出肝病理組織所見からの検討—……………納屋 樹

胆道閉鎖症肝移植後におけるCOVID-19罹患症例の

検討……………門久政司

長期自己肝生存例における肝内胆管拡張の臨床的意義

……………城崎浩司

肝移植後妊娠例の検討……………眞田幸弘

名誉編集委員

秋山 洋 石原通臣 岩中 督

大沼直躬 大谷俊樹 角田昭夫

土岐 彰 長島金二 橋都浩平

山崎洋次 横森欣司

編集委員

黒田達夫 浮山越史 金森 豊

北川博昭 越永従道 世川 修

渡井 有

小児外科

第56巻第1号

©2024年1月25日発行

定価3,190円(本体2,900円+税10%)

編集 小児外科編集委員会

発行 株式会社 東京医歯学社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-40-5

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-3237-9112(直) FAX 03-3237-9115

e-mail: shoge@tokyo-igakusha.co.jp

販売部 TEL 03-3265-3551(代) FAX 03-3265-2750

e-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2024年前金予約購読料1年分49,280円(本体44,800円+税10%)

(小児内科・小児外科 合同増刊号を含む)

*送料は前金予約購読の方のみ弊社負担です